

笑顔を生み出すものは

＜相手のことを考えながら…＞

数年前より、私は家族の介護をするようになりました。着替え、食事、入浴、移動など、年々支える内容が増えていきます。肉体的・精神的負担は想像していたよりもはるかに大きく、疲労も蓄積されていきます。自分のことは全部後回しになるため、「早くやってくれないかな」「仕事に行かなくてはならないのに」「どうして素直に言うことを聞いてくれないのだろう」毎日毎日苛立ちがつのり、いらいらすることが増えました。当然口論になりあと味の悪い時間が残ります。

ある日、骨折のため付けているコルセットを調節している時、息が苦しいと言うので、「これはどう？」「まだ苦しい？」と聞きながら装着したことがありました。そこには穏やかな空気が流れ、身支度も何となく普段よりスムーズにできたように思います。一番大変な思いをしているのは誰なんだろうと考えると、何を大事にしなくてはいけないかおのずと答えが出るように思います。シャツを着替える、湿布を貼り替える、靴下をはく…、ひとつひとつの作業で、その後、当たり前のことでもうまくできたら「よくできました」「100点だね」と褒める言葉をかけるようになっていきました。相手のことをどう考えて動くか、それによって表情や仕草、言葉がけ等、対応の仕方が変わってきます。そうすると今までいかに自分中心に生活しようとしていたかが分かってきます。これからもまだまだ続く生活、後味の悪い時間にならないようにしなくてはと思うこのごろです。

5月11日、児童会が主催する「1年生を迎える会」が行われました。児童会の今年のスローガンは、「笑顔いっぱい～みんなであるこう～」です。児童会長も副（後期）児童会長も、理想とする学校像について「笑顔」というキーワードを使っています。学校目標に「笑顔かがやくいづなっ子」とあるように、「笑顔」になるような「迎える会」を目指してきたようです。

- ・ 1年生の歩幅と速さに合わせて、手をつなぎながら入場する
- ・ 「あいさつ」「ルール」「なかよくこうりゅう」をテーマに楽しく演技しながら紹介する（あるこう）
- ・ 1年生に分かりやすいように「なかよしゲーム」を進行する
- ・ 全校が楽しめるようにみんなで盛り上げる
- ・ 会全体を考えて自分の分担をきちんとやり遂げる

いずれも1年生に焦点を当て、1年生が分かりやすいように、楽しんでもらえるように、笑顔になるようにと考えながら進めてきたのでしょう。1年生は全校の中に入って一緒に行く楽しさ、学校生活の楽しさを感じることができたことと思います。こうした活動（学習）を通して、6年生は達成感や癒やしを感じて自信を身につけ、1年生は安心感やあこがれを感じて信頼を身につけ、互いにぐんぐん成長しています。また2年生から5年生はこうした姿をまのあたりにし、「いつか自分たちも…」というあこがれを抱きます。相手のことを大切に考えて進めてくれた児童会の皆さん、そして6年生、さすがですね。

相手を笑顔にしようとする純粋な気持ちは、行動と結びついて全校に広がりました。まもなく行われる運動会も、全校の子どもたちが笑顔いっぱいになることを期待しています。



＜開校記念運動会の見どころ＞

6月2日には、三水小学校の第1回運動会が行われます。今回は「開校記念運動会」となります。各学年に見どころを聞いてみました。もちろんすべてのプログラムを精一杯やっていますが、その中でも特に、というものを聞いてみました。

1年・2年：電車でGO！ (1・2年)

フラフープを用いてリレー形式で競います。異学年の友だちとも協力しながら、チームを勝利へと導きます。

6年：すべての種目と係活動

最後の運動会、気持ちをひとつにして、競技、応援、係活動などに全力で取り組む姿を見てほしいと思います。

3年：三水ソーラン（3・4年表現）

ニシン漁で互いに励まし合う中で出来たソーラン節。毎日元気なあいさつをする3・4年生の声や大きな演技をご覧ください。創作ダンスも加えた三水小学校のソーラン節を創り上げます。

5年：笑顔いっぱい ～三水小誕生～ (5・6年 表現)

私たちは初めて組体操に挑戦します。三水小学校の誕生にちなみ、体を全て使って三水小の誕生を表現したいと思います

4年：騎馬戦～三水春の陣～

(4・5・6年)

4人で騎馬を組み、相手に戦いを挑みます。怖いなんて言ってもらえない。チームで協力し、勇気をもって突進します。

私たちは、運動会は「保護者の方々、地域の方々の協力を得ながら行う、壮大な『授業』」と考えています。そのため以下の3つの意識を大切にしています。

①「練習」から「追究」へ

単調な繰り返しではなく、「スピードを落とさないでカーブを曲がるにはどうするか考える」「バトンを上手に渡すために話し合う」「ダンスをうまく踊るために友だちと見合ったり意見を出し合ったりして工夫する」など、当日に備えて追究を続けます。

②「仕上げる」から「積み上げる」へ

「一昨日より昨日」「昨日より今日」「今日より明日」というように、子どもたちは頑張りを積み上げながら当日を迎えます。「運動会が終わってすべて終わり」ではなく、今後も追究は続いていきます。完璧を目指すのではなく、今までやってきたことの積み上げを自覚することを大切にします。

③「失敗を叱る」から「育ちを意味づける」へ

当日に向けて気持ちが高まるのは、「ここができるようになった」「今週はここが伸びたぞ」と自分で自覚できるからではないかと思います。子どもたちの育ちを、友だち、教師、おうちの方が共有し合うことによって、更なる意欲へとつながっていくように思います。

グラウンドを使って全校で行う子どもたちの「授業」を、ぜひご覧ください。

＜PTA総会 ありがとうございました＞

4月27日（金）は、授業参観、PTA総会、学年学級懇談、出発の会と慌ただしいスケジュールでしたが、ご多用の中ありがとうございました。無事新しいPTA活動がスタートいたしました。第一小、第二小の旧役員の皆様、1年間大変お世話になりました。また、新役員の皆様、今後ともよろしく願いいたします。



＜子どもたちの活躍＞

4月28日に行われました「長野県市町村対抗小学生駅伝競走大会」で、牟礼小・三水小合同チームが23分07秒で、町の部第3位になりました。本校からは、5・6年生の4名が出場しました。今後ますます力をつけて、記録をのばしてほしいと思います。おめでとうございます。賞状とトロフィーは昇降口前に展示してありますので、ご覧ください。